（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス「らいと」			
○保護者評価実施期間	令和8年6月10日	～	令和8年6月27日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22名	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	令和8年6月10日	～	令和8年6月27日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	12名	（回答者数）	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　10月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の障がい特性に応じた個別対応を行っていること。	・利用者ご本人、保護者からニーズを汲み取って個別支援計画に反映し、支援目標に応じた活動を提供している。 ・部屋が分かれているため、取り組む活動内容や利用者によってスペースを使い分けている。 ・スケジュールを活用して伝え方を配慮するなど、ご本人が過ごしやすいよう努めている。	・提供する活動が支援計画の目標に即するものか情報共有と確認を強化し、より有意義な取り組みとなるよう努める。
2	医療的ケア児をはじめ、多様な障がい特性を持つ利用者を幅広く受け入れていること。	・看護師を配置し、医療的ケア児の受け入れを積極的に行っている。 ・放デイ分科会に所属し、見学や交流会に参加して関係機関とのつながりを構築し、情報共有を行っている。また研修に参加し支援の資質向上に努めている。	・利用希望の見学を積極的に受け入れる。 ・積極的に研修に参加し、支援技術を高める。レイアウト変更や見守り体制の見直しなど、新規受け入れに際しての環境を整えていく。 ・職員間で情報共有を密に行い、多様な障がい特性を持つ利用者に対応するために全体としてサービスの質を上げる。
3	新しい活動を積極的に取り入れていること。	・これまでもプログラムが固定化されないよう工夫していたが、土曜日や長期休暇時などを活用し、スピード感を持って様々な活動を立案、取り入れることができた。 ・障がい特性に応じた個別対応を大切にしつつ、集団活動も増やし利用者の成長の機会につなげている。	・職員から幅広く意見を聞いたり、外部機関とも連携を取って今後も活動の幅を広げる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動提供をするのにスペースが不十分な時があること。	・活動内容、スペースの設定など工夫し、室内が過密とならないよう外出活動を取り入れるなど工夫しているが、建物の広さに限界がある。	・必要に応じて部屋のレイアウトも随時変えながら、限られたスペースでもより良い活動を模索する。 ・外出活動の充実にも積極的に取り組む。
2	職員間、特にパート職員への情報共有が不十分であること。	・パート職員は勤務時間の関係もあり、情報共有の時間が十分に取れていなかった。	・パート職員は現在情報共有の時間も含めた勤務時間に変更。またこれまで常勤職員のみで行っていた会議にもパート職員の参加を呼び掛けていく。
3	父母の会の活動や保護者会の実施ができておらず、保護者同士、きょうだい同士で交流する機会を持てていない。	・保護者会はコロナ禍以降実施できておらず、要望する声も少なかったためそのままになってしまっている。	・保護者会は次年度実施予定。